

東洋産業だより

Vol.273



東洋産業セミナーについてご紹介

セミナーの詳細、
お申し込み方法は
弊社HPにてご確認ください。

東洋産業セミナーは、防虫防鼠や異物対策などをテーマに、衛生管理や品質向上に役立つ実践的な情報を提供するセミナーです。具体的で豊富な他社事例を解説する点が特徴で、自社での応用や改善のヒントとして役立ちます。

本セミナーは、**90%以上※**の受講者から「**自社で活用できる**」とご好評いただいています。※2025年度セミナー実績

■テーマ

工場施設の経年劣化に対応する防虫対策
ハード改善計画を立てやすくする自社チェック方法

■プログラム

講演
① スッキリ理解 効率的にハード改善計画を
立てる方法・自社のチェックポイント

講師：東洋産業株式会社 三藤 文章

講演
② 建築・設備の経年劣化で生じる防虫リスクと
対策事例 ～応急対策事例と根本対策事例～

講師：清水建設株式会社 室井 利夫 氏

講演
③ 現場レポート
経年劣化に対する各社の取り組み事例

講師：東洋産業株式会社 水元 誠

こんな方におすすめ！

- ✓床・排水・隙間の劣化が気になる
- ✓ネズミや飛来虫で何から対策すべきか分からない
- ✓予算の優先順位に悩んでいる



■開催日程&場所

大阪会場：10/21(水)13:00～16:30
高松会場：10/27(火)13:00～16:30
広島会場：10/28(水)13:00～16:30

■受講料

6,600円
(消費税込)

おすすめ



ラッターン

特徴：配管用ネズミ返し。インシュロックで取り付け簡単。サイズは配管用と吊りボルトや鉄筋交い用の2種類で垂直にも水平方向にも取り付け可能。

今月の豆知識

宇宙開発が教える予防保全

大きな事故の多くは、ある日突然起こるのではなく、小さな異常の見逃しから始まります。今回は、宇宙開発史に残るチャレンジャー号事故を通じて、異常を見逃さないことの重要性について考えてみたいと思います。

1986年、スペースシャトル・チャレンジャー号は打ち上げから73秒後に分解し、7人の乗組員が亡くなりました。原因は、ロケットのつなぎ目をふさぐゴム製のシール材「Oリング」でした。打ち上げ当日の朝は厳しく冷え込み、冷えて弾力を失ったOリングが、すき間をふさぎきれなかったのです。

しかし、それまでの飛行でも、Oリングが傷んだ跡は何度も見つかっていました。しかし「前回も無事だったから大丈夫」という判断が繰り返され、小さな異常が

「いつものこと」になっていたのです。社会学者はこの状態を「逸脱の常態化」と名付けています。実は打ち上げの前夜、ロケットを製造したメーカーの技術者たちは、低温でのOリングの危険を訴えて延期を求めていました。それでも、現場の声を無視して、上層部の決定で最終的に打ち上げは決行されました。

事故調査の公聴会では、物理学者のファインマン氏がOリングの材料を氷水で冷やし、弾力がなくなることを目の前で示しました。

このように大事に至らなかった経験が正常性バイアスを生み、結果オーライの判断が積み重なって悲劇となっていました。重要なのは異常を異常として認識できる組織の仕組みだと考えさせられた事例です。